



2025 Jリーグ ルヴァンカップ 1 回戦
3/20 (木, 祝) 14:00 kick off
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

today's guest
横浜 FC

ルヴァン杯2025日程

岐阜が勝ち上がったときは

● 2 回戦

4/16(水) vs (岡山vs北九州の勝者)
※対戦相手が岡山の場合は長良川での開催の可能性が高いですが、北九州の場合はわかりません

さらに勝ち進んだときは

● 3 回戦

5/21(水) vs (町田or藤枝or甲府)
※原則、下位カテゴリー側のホームで行うことになっているので、長良川で開催の可能性が高いです

さらにさらに勝ち進んだときは

● プレーオフラウンド

6/4(水) と 6/8(日)
※ホーム&アウェー。岐阜は6/7(土)に鹿児島とのアウェー戦が組まれているため、ここまで勝ち進むとリーグ日程の変更が発生すると思われます

次回HomeGame

第 7 節 vs. 松本山雅

3/29(土) 14:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)
年中無休 午後 3 時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩 3 分。
休:月曜日

今日もここから
串かつで一杯

煮込み珍道中
串かつ

14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)

※売り切れ次第、終了です
<定休日:日曜・祝日>

TEL. 058-252-1580

忠節橋
通り

JR 岐阜駅
北口より
北西方面へ
徒歩約 10 分

★

アミカ

ドミ

イン

JR

岐阜駅

通算対戦成績	全26試合 (J2:26試合) 岐阜7勝 / 横浜FC15勝 / 4分け Jリーグ岐阜ホーム戦: 4勝1分9敗		
直近の対戦結果	2019/09/29 J2 - 34節 @長良川	岐阜 1-1 横浜FC	得点者: ミシャエル
ここ 3 試合の 公式戦の 結果	岐阜	2025/03/16 J3 - 05節 @長良川 岐阜 1-2 金沢	2025/03/15 J1 - 6 節 @ニッパツ 横浜FC 2-0 C 大阪
		2025/03/08 J3 - 04節 @とうスタ 福島 4-3 岐阜	2025/03/08 J1 - 5 節 @ニッパツ 横浜FC 0-2 町田
		2025/03/01 J3 - 03節 @長良川 岐阜 2-1 北九州	2025/03/02 J1 - 4 節 @E ビース 広島 1-0 横浜FC

● 2025 年の J 3 リーグ、シーズン序盤から苦悩する FC 岐阜。3/16(日) 第 5 節・ホーム金沢戦は、前半 17 分に #10 北龍磨の F K で先制点を挙げる。しかし後半になると金沢の猛攻を浴び、守備に追われる時間帯が続いてしまい、後半 38 分に同点に追いつかれると、後半 43 分に逆転されてしまい、1-2。2 試合連続での逆転負け、しかも 2 試合とも短時間での複数失点という、非常に残念な結果となってしまった。

この試合の結果、FC 岐阜の順位は 14 位から 17 位に下がってしまった。「まだ、全 38 試合中の 5 試合を経過した段階で、シーズン序盤に解決すべき問題点が現れている状況だ」とポジティブに考えることも可能ではあるが、やはり 2 試合連続の逆転負けは大きな問題だ。選手自身のプレー内容や、選手起用や采配も含めて、チーム全体でしっかりと反省した上で、次節以降の立て直しを求めたい。

さて、リーグ戦を一旦離れて、今日の試合は J リーグカップだ。J 開幕前年の 1992 年に第 1 回大会が開催され、冠スポンサー企業によって「J リーグヤマザキナビスコカップ (略称・ナビスコ杯)」と呼称されていたが、2016 年にスポンサー企業が「ナビスコ」ブランドとの契約終了 & 社名変更に伴い、「J リーグ YBC ルヴァンカップ (略称・ルヴァン杯)」と変更。長らく、「リーグカップ」と言いつつも J 1 クラブだけが参加 (2018 年からは J 2 降格の 2 クラブも参加) する方式が続いたが、昨季からは、全 J リーグ 60 クラブが参加する方式に改められた。今季のレギュレーションは、今季の ACLE 出場クラブ (浦和・神戸・横浜 F・川崎) と ACL2 出場クラブ (広島) を除く 55 クラブを 7 グループに分けて「1 st ラウンド (トーナメント 3 回戦)」を行い、勝ち残った 7 クラブと広島による「プレーオフラウンド (H & A) 戦」を実施。さらに勝ち残った 4 クラブと ACLE 出場 4 クラブによる「プライムラウンド」でリーグカップを争う方式だ。なお、1 st ラウンドは、下位カテゴリー又は 2024 年の順位が下位のチームのホーム開催となる。

今年で 2 度目の J リーグカップ参加となる FC 岐阜。第 1 回戦の対戦相手は、横浜 FC だ。四方田修平監督の下で、2022 年に J 1 に昇格したものの、翌 23 年に J 2 降格。昨季は最終節で再昇格を決め、今季は四方田監督体制 4 年目で 2 度目の J 1 リーグにいるチームだ。現在は第 6 節を経過して 13 位と、J 2 降格圏の外にいる。当然、カテゴリーが 2 つ上のチームなので、岐阜にとってはかなりの難敵だ。ただし、ベストメンバー規程が事実上撤廃されている現在では、ルヴァン杯の「重み」をどう考えるのかは、各クラブの状況によって変わるだろう。今日の試合の勝者は、4/16 (水) に 2 回戦を戦うことになる。5/24 (土) から 1 回戦、そして 6/11 (水) に 2 回戦が行われる天皇杯と併せて、どこに「重心」を置くのかで、選手の起用方法も自ずと変わってゆくだろう。両監督が起用したスタメン選手が誰なのかに注目したいし、岐阜の大島監督が新たに起用した選手が奮起して、チームを活性化させてくれることに期待したい。

横浜 FC との対戦は、岐阜が J 2 にいた 2019 年にまで遡る。今はカテゴリーも異なるし、先述のようにリーグ戦とは選手起用も異なる可能性が高いため、単純比較はできない。岐阜と比べてタレントが揃う横浜 FC の選手の中で、僕ら岐阜サポーターの注目を集めるのは、やはり #20 村田透馬だ。2018 年に特別指定で岐阜に加入してから 2023 年まで在籍し、94 試合に出場した選手。昨季に横浜 FC へ移籍して、29 試合出場・2 得点。今季はリーグ戦 3 試合 33 分の出場にとどまっており、ルヴァン杯で起用される可能性が高い選手と言えるだろう。長良川への「凱旋」は嬉しいことだが、しかし、負けるわけにはいかない。岐阜には #20 村田とプレーしていた選手も多く、特に興国高で 2 年上だった #10 北龍磨は、その対戦に燃えているだろう。残念ながらチームが停滞している中では、新しい選手の台頭が必要だ。この試合が、そういった選手たちの活躍の場になること、そしてリーグ戦に良い影響を及ぼしてくれることを願いつつ、この試合でも、最後まで選手たちの背中を後押しするため、選手や拍手を送り続けよう。(ささたく)

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

【第5節】岐阜 1-2 金沢

●やっぱり1-0でクローズできるゲームなんかじゃなかった……。

北龍磨の直接フリーキックは素晴らしかった。あれはGKがなかなか手が届かないコース。思いがけず先制点は岐阜に。だが、試合内容は序盤から金沢ペース。右サイド栗飯原尚平と文仁住の間のスペースを使われまくって、クロスを上げ続けられる。甲斐健太郎、野澤陸のCBコンビが身体を張って金沢・パトリックを押さえ込んだり相手のフィニッシュの拙さにも救われたりで、どうにか前半を0点に抑えて折り返し。だが後半金沢の勢いを食い止められず同点、そして逆転を許してしまった。

ここまで5戦、どうにももどかしく厳しい戦いが続く。戦術、選手起用などもいろいろ思うところもある。早くも監督交代論とかも出ているようだが、目に見えて効果が現れるとは考えにくい。

次戦はルヴァン杯横浜FC戦。思い切ってスタメン全員ターンオーバーとかもアリかもしれない。今まで出場機会に恵まれていない選手たちにとってもチャンス、リーグ戦スタメン組を食ってやるくらいの発奮を期待したい。チーム内での競争意識が高まれば、新たな刺激も生まれて相乗効果が高まるだろう。(岐阜の誇り)

●福島戦で華麗な逆転劇を喰らわせられた反省から、この試合では#24 栗飯原尚平をスタメン起用。これで右サイドの隙がふさがって…ないですね(溜息)。#24 栗飯原と#22 文仁柱が空けた広大な右サイドのスペースを、序盤から金沢に集中的に狙われる。僕は『もしかして、わざと弱点を作って金沢に狙わせておいて、そのポイントで守る戦術かしら?』って思ったぐらいで(苦笑)。そして、#11 佐々木快が孤立してるのも解消されず。これは厳しいなあ……と思っていたら、前半17分に、相手PA前で獲得したFKを、#10 北龍磨が直接ゴール右上隅に決めて先制点!少し距離があったけど、美しい弾道のゴールでした。

しかし、試合の主導権は金沢のまま。何度か危ないシーンを身体を張って守り、何とか無失点で前半を折り返す。しかし、HTにFWを変えてきた金沢は、後半もさらに攻勢のギアを入れる。一方の岐阜は、何とか守ってボールを前線に送るが、#11 佐々木のところで収まらない(あるいは距離が遠くてセカンドボールが拾えない)ので、再び金沢の攻撃ターンになり、守備の時間が長く続く。これは福島戦と同じパターンじゃないか。そこで岐阜は後半の早い時間帯から交代カードで試合の流れを変えようとするけれど、できない。ベンチメンバーが良くも悪くも『若すぎる』。9名中5名が22歳以下、うち3名がルーキー。実力はあるかもしれないけど、経験不足は否めない。チームがイケイケの時は、若い選手の方が勢いが出ると思うけど、こういった苦しい展開の時はねえ……(溜息)。ただ、それ以外のメンバーを見渡しても、怪我人もいなくて選手不足だ。疲れた選手を替える度に、チームの戦力が低下していくような感覚。そして後半38分に、ついに同点ゴールを許してしまうと、後半43分に逆転される。5分間に2失点、これも福島戦と同様の負け方だ。シーズン序盤とはいえ、似たようなパターンで2試合連続で逆転負けを見せられるのは、正直キツイ。こうなると、やっぱり昨季の終盤みたいに3バックが合うかと思うけれど、誰を起用するの?って考えると難しいかもしれない。なんとか、この閉塞感を打破してほしいものです。(ささたく)

●前節に続いての逆転負け。「今季最低の試合」をまたしても更新しただけの内容。それでも、よかったコトを探せば、龍磨のゴールか。ウチがFKを直接決めたのはいつ以来だろ?キックオフ直後から「失点するのは時間の問題」という内容。よくぞ、2点で……と言わざるを得ない。選手達がカラダを張って『人間の壁』となってゴールを防いでいたけど、動けなくなってきた所に動けるFWをぶっ込まれて万事休す。

思うことは多々ある。しかし、細かいことを論ってもしようがない。目標転換。今季の昇格は、ひとまず、置いてこう。先日持株会で社長は岐阜の目指すモノは『攻撃的なサッカー』と言っていた。しかし、ソレは一朝一夕には出来上がらない。高く跳ぶためには、出来るだけ姿勢を低くしなければならぬ。この際、臆は早いウチに出し切っておこう。しばらくは基礎固め。6月には形にしてくれば、なんとか、18位以内の確保、今季の残留は出来るんじゃないかな?このメンバーなんだから。とはいえ、3~5月で勝ち点10くらいは積んでもらえるとありがたい。暑くなるとウチの『風土病』と言えるような長い停滞が始まっちゃうかも?なんですね。とりあえず、鳥取には行ってきます!あ、もちろん、ルヴァンも、ね。(ぐん、)

●金沢のサポーターさんは気持ちよかっただろうなあ。勧善懲悪モノのような、スカッとする鮮やかな逆転劇。でもこれは一部の金沢サポさんが認めている通り、「岐阜が弱い」というアシストがあつてこそ、だ。

岐阜は3トップを敷いたようだけど、右のあいちゃんが前目に張ったことで後ろには羊が昼寝出来るスペースが。3トップが全然連携出来てないので、潤滑のために西谷もリョーマも上がり目になる。ムン君の前に広がった広大なスペースは、とてもコーダイひとりで面倒見れるものではない。そこを金沢の23と24が連携プレーでずつつた。リョーマの綺麗なFKで先制したけど、とてもじゃないがこれでおとなしくなるとは思えなかった。

岐阜の右サイドが揃って交代したら、金沢は「はい、じゃあ次は逆サイドね」と攻撃の比重を変えてボディブローを撃ち続け、試合終盤にはCB野澤がいっぱいいっぱいになったところに機動戦力で襲い掛かる。とはいえ、岐阜のベンチにはCBの交代要員はキム君しかいない。さすがに高卒ルーキーの外国人選手に「このパニックを鎮めてこい」とは言えないよね……。結局、「サッカーとは90分のスコアで決着する競技なのだよ」という当たり前の事実を突きつけられ、岐阜は麻雀マンガで「器じゃねえっ!器じゃねえよっ!よくぞ俺と勝負してくれたあああっ!」とアタマを抱えて泣き出すザコ雀士のように負けたというわけだ。

監督の仕事は、チームを成長させて結果を出すこと。選手のスキルがあり、それをチームのプレーに昇華させて結果を残せるようにする過程、これを「チームの成長」というのだろうけど、今季の岐阜はこの5試合で「チームの成長」「チームの成長の可能性」が見えた点が『まったく』ない。思えば、この日に対戦した金沢も昨年の序盤はまったく光明が見いだせずサボ筋が荒れたものだが、伊藤監督は「練習を積みれば確実に光が差す」というようなことを言っていて、実際に昇格プレーオフ圏まで上がったこともあったはずだ。岐阜も同じことを期待していいのかしら?

そうも言っていられないかと。選手としてあまりに『伸びしろがあり過ぎる』選手がいる。彼を使うことで「選手は成長する」だろうけど、「チームは成長する前に降格する」だろう。そして、その選手は「岐阜には感謝しています。成長した姿を視てください」とか言い残して他のチームで活躍するのだろう。ぺんぺん草1本生えていない未来ではないか。

戦術の素人的に、「佐々木が孤立するなら2トップにすればいい」「それで西谷の居場所がなくなるなら3-5-2にすればいい」とか思ってしまうのだけど、「じゃあその3バックは誰にするの」と返されると困ってしまう。でもさ、現在の2枚CBがケガしたり出場停止になったらどうするの。もはやチーム編成の問題だ。「これだっ!これがJ3だっ!」と言われたらどうしようもないけど、チーム編成の問題である以上、現時点のテイタラクの責任を監督に負わせるのは反対だ。監督へのタスクを変えよう。目標を『J3残留』に明確にシフトしよう。たぶん、いまから真剣に残留争いをすれば、まだ間に合うと思うんだけど、甘いかな。(吉田鑄造)